

# 分庁舎非常用発電機更新工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E-0/16	表紙、図面リスト	--
1/16	電気設備工事特記仕様書（１）	--
2/16	電気設備工事特記仕様書（２）	--
3/16	配置図、付近見取図	1：300
4/16	発電設備 仕様書・参考姿図	--
5/16	発電・仮設電源設備 1階平面図－１（改修後・仮設・撤去）	1：100
6/16	分電盤リスト（１）	--
7/16	分電盤リスト（２）	--
8/16	分電盤リスト（３）	--
9/16	電灯・コンセント設備 1階平面図（改修後）	1：200
10/16	電灯・コンセント設備 2・3階平面図（改修後）	1：200
11/16	電灯設備 1階平面図－２（改修後・撤去）	1：100
12/16	電灯設備 2・3階平面図－２（改修後）	1：100
13/16	電灯設備 3階平面図－１（改修後・撤去）	1：100
14/16	コンセント設備 1階平面図－１（改修後）	1：100
15/16	コンセント設備 1・2階平面図－２（改修後）	1：100
16/16	コンセント設備 2・3階平面図－１（改修後）	1：100

## I. 工事概要

## 2 建物概要

3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)  
 ◎の付いたものを適用する。

発 電 設 備	● ① 自家発電装置	電気方式 三相3線式 ● 6.6kV ② 210V 機器形式 ③ キュービクル形 ● 簡易形 ● オープン形 発電機 (90kVA以上) 原動機 ④ ディーゼル ● ガスタービン 防油堤 ● コンクリート製 ● 鉄板製 (● 本工事 ● 別途工事) モジュール ● 結晶シリコン ● 薄膜 ● 風車 ● プロペラ形 ●
	● 太陽光発電装置 ● 風力発電装置	
通 信 情 報 設 備	● 構内情報通信網設備 ● 構内交換設備 ● 情報表示設備 ● 映像・音響設備 ● 拡声設備 ● 誘導支援設備 ● テレビ共同受信設備 ● 監視カメラ設備 ● 駐車場管制設備 ● 防犯・入退室管理設備 ● 自動火災報知設備 ● 自動閉鎖設備 ● 非常警報設備 ● ガス漏れ火災警報設備	● 機器 ● 配管のみ ● 配管及び配線 ● 交換機 ● 局線中継台 ● 電話機 ● ボタン電話装置 ● 配管のみ ● 配管及び配線 ● マルチサイン装置 ● 出退表示装置 ● 時刻表示装置 ● 増幅器 ● スピーカー ● プロジェクタ ● スクリーン ● その他 ( ) 用途 ● 一般放送 ● 非常放送 ● 個別放送 ● 音声誘導装置 ● 身体障害者用インターホン装置 ● トイレ等呼出し装置 ● インターホン ● テレビインターホン ● ナースコール ● アンテナ (● UHF ● BS ● CS) ● CATV ● カメラ ● ビデオモニタ ● タイムラプスVTR ● 配管のみ ● 配管及び配線 車両検知方式 ● 光線式 ● ルーブル式 機器 (● 本工事 ※ 別途工事) 配管 (※ 本工事 ● 別途工事) 配線 (● 本工事 ※ 別途工事) ● 受信機 (● P型 ● R型) ● 副受信機 ● 中継器 ● 感知器 ● 運動制御器 (● 回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体) 感知器 (● 共用 ● 専用) 複合装置 ● 一体形 (※ 一般型 ● 防雨型) ● 単独 受信機 (● 回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体 ● LPガス用 ● 都市ガス用)
中 央 監 視 設 備	● 形式 ● 監視制御対象設備 ● 伝達方式	● 警報盤 ● 表示操作盤 ● 監視制御装置 ● 動力設備 ● 受変電設備 ● 自家発電設備 ● 防災設備 ● 照明制御 ● 給排水設備 ● 空調設備 ● アナログ方式 ● デジタル方式
	● 電気方式 ● 施工方法 ● 外灯点滅方式	三相3線式 (● 6.6kV ● 200V) ● 単相3線式100/200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) ● 地中埋設式 ● 架空線式 ● 手動 ● 自動 (● タイマー ● 自動点滅器 ● 中央監視)
構内配電線路	● 用途 ● 施工方法	● 電話用 ● 時計拡声用 ● 火災報知用 ● インターホン用 ● 情報通信網用 ● CATV ● 地中埋設式 ● 架空線式
構内配電線路 消防設備 消防設備	● 対策方策 ● 責任分界点	● 都市形CATVへの加入 ● 共同受信方式 (● 共同アンテナ ● 館内用アンテナ用) ● 各戸の保安器一割制 ●

特記仕様

## 1 一般事項

(1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁庁営繕部監修の標準仕様書のうち、**㊦** 印の付いたものによる。

- ㊦ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）（以下、「標準仕様書」という。）
- ㊦ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
- ㊦ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成31年版）（以下、「標準図」という。）

(2) 国土交通省大臣官庁庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（令和元年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。

(3) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

## 2 特 記 事 項

(1) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項のうち選択する事項は ● の付いたものを適用する。

○ の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。● と ⊗ の付いた場合は共に適用する。

(3) 一般共通事項のうち ( ) 項は、● 建築 ● 機械設備 工事仕様書による。

一般公共事业项目	⑫ 完成园等
----------	--------

### 13 他工事との取合い

14 土 工 事

⑮ 電 線 類

⑬電線本数・管路等

### 17 厚鋼電線管の熔融亜鉛メッキ

19 波付硬質合成樹脂管 (FEP)

⑳ カバープレートの用途別表示

## 24 結 露 防 止

②⑥ は つ り

完成後は、速やかに次の完成図書を提出すること。

区 分	名 称	部 数
※ 完成図原図	完成図 ※ 原紙 ☒ CADデータ ☒ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1 部
※ 完成図 2つ折製本	☒ 完成図原図の隔面複写紙 ※ 完成図原図の隔面複写紙（縮小版） ● 施工図原図の隔面複写紙	※ 1部 ● 部
※ 完成図 ● A4版黒表紙製本 ※ A4版市販ファイル	※ 完成図原図の隔面複写紙 ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※ 1部 ● 部
※ 保守用説明書 A4版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 1部 ● 部
※ 保証書		1 部
※ 官公署届出書類		1 部

他 工 事 と の 取 合 い		電気設備	機械設備	建 築
● コンクリート壁、床、家賃通部	補 強 スリーブ・箱入	●	●	※
● 鉄骨造の開口及び補強		●	●	※
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）		※	●	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		※	●	●
● 埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠 補 強	※	●	●
● O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		●	●	※
● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切 り 込 み 補 強	※	●	●
● 自動閉閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアセンジ		●	●	※
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びピット（蓋を含む）		●	●	●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	※	●
● 機器用コントロールスイッチ（空調機、給湯器等）の取付及び配線		●	※	●
● テレビアンテナ	基 礎 アンカーボルト	●	●	※
● 天井点検口		●	●	※
● 自立型制御盤の基礎		※	●	●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 屋 上 設 置	※	●	●
		●	●	※

ぬ め 戻 し 土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類 ( ) ● 真砂土 ( )  
 建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ● 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に環境  
 本工事で環境配慮の観点から、原則としてEケーブルを使用するものとする。  
 EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。  
 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。  
 盤内ケーブルはEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。  
 ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。  
 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承認を受けて変更してもさしつかえない。  
 メッキ付着量 300g/m<sup>2</sup>以上とする。(※ 屋外 ● )  
 塗装する部分 ● 居室、廊下等 ● 機械室 ● 屋外 ●  
 波打硬化合成樹脂管 (FEP) を使用する場合は不燃又は難燃性とする。  
 ④ 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製

ール等を貼付する。

設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」（平成８年版・建設大臣官庁官庁情報部監修）によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針２００５年版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。

１）設計用水平地震力

機器の重量〔ｋＮ〕に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

設 置 場 所		機 器 種 別	⊙ 特定の施設		● 一般の施設	
			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層附設、屋上及び塔屋	機 器	２．０		１．５		１．０
	防振支持の機器			２．０		１．５
	水 槽 類			１．５		１．０
中 間 階	機 器	１．５		１．０		０．６
	防振支持の機器			１．５		１．０
	水 槽 類			１．０		０．６
地 下 及 び １ 階	機 器	１．０		０．６		０．４
	防振支持の機器					
	水 槽 類		１．５	１．０		０．６

(注) 上層階の定義は次(次頁)による。

2 上層2階：最上階、7～9階建：上層2階、10～11階建：上層3階、13階以上：上層4階

重要機器 ( ● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換機 ● 直流電源装置 ● UPS装置 )

● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 )

2) 設計用鉛直面地震力

設計用水平地震力 $1/2$ とし、水平地震力と同時に働くものとする。

● スチレス製 ( ) ● 溶融亜鉛メッキを施した鋼材

外気に面する壁、スラブ等で打ちこみなるとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。

工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならぬ補修する。

既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。




探査方法 ● 電磁誘導式 ● 放射線透過検査

②③ 屋上、屋側の支持金物等

②⑤ 補 修 な ど

②⑦ はつり工事における非破壊検査

工程名称	
------	--

	 有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第30-1356号	CHECK	DRAWING		縮尺	工事名称	図面番号 E-1/16 NO
					A2: --  設計年月日 R5. 4	分庁舎非常用発電機更新工事  電気設備工事特記仕様書(1)	

一般共通事項

28 接地極

29 アスベスト含有建材の処理

30 室内空気中の化学物質の濃度測定

31 火災保険等

32 グリーン購入

1 電気設備

2 動力設備

3 雷保護設備

4 受変電設備

5 電力貯蔵設備

6 発電設備

7 情報表示設備

接地極の材料は次による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
● 共同接地	E A E D	10Ω以下	E B×3連-2組
● 共同接地	E A E C E D	10Ω以下	E B×3連-2組
● A 種	E A	10Ω以下	E B×3連-2組
● B 種	E B	Ω以下	E B×2連-2組
● C 種	E C	10Ω以下	E B×3連-2組
● D 種	E D	100Ω以下	E B×1
● 雷保護設備用	E L A	Ω以下	● E P-0.6×2 ● E B×連-組
● 高圧避雷器	E L H	10Ω以下	E B×3連-2組
● 交換機用	E t	Ω以下	E B×3連-1組
● 通信用	E A t	10Ω以下	E B×3連-2組
● 通信用	E D t 及び E D a	100Ω以下	E B×1
● 電話引込口の保安器用	E L t	100Ω以下	E B×1
● 測定用	E o	—	E B×1

(連結又は単独の場合、E BはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)  
(測定用の場合、E BはD=10 L=1500 または W=30 L=1200とする)

建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。  
処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 県有施設の石綿除去に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。  
※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて必要な手続きを行う。

- 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。  
分析方法はJIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定法」による。
- アスベスト粉じん濃度測定を行う。  
(測定時期： 測定場所： 測定点： )
- 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。
- 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。  
対象箇所（ )

実施する。  
工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。  
(保険の加入期限は、工事完成引渡しまでとする。)

グリーン購入は次のものとする。

- 照明制御システム ● 変圧器 ●

1 LED及び蛍光ランプの光源色は下記による。  
LEDの光源色 ( ※ 昼白色 ● 電球色 )  
コンパクトランプの光源色 ( ※ 昼白色 ● 電球色 )

2 Hf形蛍光灯器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧(100V～242V)に対応するものとする。  
測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。)

※ 設置した各部屋2箇所以上 ●

明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。  
照度測定時期 100%点灯時( ※ 夜間 ● 昼間) 調光制御点灯時( ※ 夜間 ※ 昼間 )

1 機器への接続

※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事

1 大地抵抗率の測定

2 外部雷保護設備接地システム

1 変圧器移動車輪

2 デマンド監視装置

3 予備品等

4 盤内照明

1 交流無停電源装置(UPS)

1 自家発電装置

2 太陽光発電装置

3 風力発電装置

1 マルチサイン装置

2 出退表示装置

3 時刻表示装置

1 交換機

2 保安器用接地

4 回線数

5 電話機

6 電話機への配線

9 映像音響設備

10 拡声設備

11 誘導装置

12 火災報知設備

13 構内配電線路

14 構内通信線路

15 テレビ

16 その他

1 局線応答方式 ( ● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式  
● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式 )

停電補償時間 ( 分 )

※ 本工事 ● 別途工事

※ モジュラージャック ● 電話用プレート

内線 / / 回線 局線 / / 回線 (現用/実装/容量)

● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台

● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台

卓上電話機1台につき次のものを見込む。

● ボタン電話機 ( ● EM-BTIE 0.4-2P ● ) ( ※ 15m ● )  
● 内線電話機 ( ● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C ) ( ※ 15m ● )  
● 多機能電話機 ( ● EM-BTIE 0.4-2P ● ) ( ※ 15m ● )  
● IP電話機 ( ● EM-UTP 0.5-4P ● ) ( ※ 15m ● )

光出力 ( ● I形 ● II形 ● III形 ) 解像度 ( ● A形 ● B形 ● C形 )

コントラスト比 ( ● X形 ● Y形 )

形式 ( ● 卓上形 ● ラック形 ) 定格出力 ( W ) 性能 ( ● Hi形 ● Lo形 )

● 増幅器の入出力配線と外部配管 (壁ボックス等) の接続はコネクタによる。

検出方式 ( ● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式 )

受信機 ( ● 型 級 回線 (番積型) ● 複合形 ● 単独形 )

● 防火戸用 ( ※ ラッチ式 ● 電磁式 )

● 防煙ダンパー用 ( ※ 電動復帰 ● 手動復帰 )

● 防火シャッター用 ( ※ 別途工事 ● 本工事 )

検知器 ( ● 天井取付形 ● 壁取付形 )

埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。  
● GL-600以上 ( ● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ● )

ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。

● 閉鎖形 ( ● 軽耐塩形 ● 重耐塩形 ) ● 地絡絡電器付 ( ※ 方向性 ● 無方向性 )

※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属すること。

高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策 (熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等) を行う。

● 一般形 ● 耐塩形

※ 高圧 ● 低圧

照明用ポールには配線用遮断器 (トリップ機能なし) 又はカットアウトスイッチ (素通しヒューズ) を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。

埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。  
● GL-600以上 ( ● )

ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。

● データ回線 ● 電話 ● CATV ●

図面に記載されていない事項は、すべて (一社) 日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領 (地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けること。

※ 事前 ● 中間 ※ 事後

中継局 波： 地点

中継局 波： 地点

※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事後 3部

電力共通

電

灯

動力

構内交換

電気時計

拡声

名 称

測 点

取付高 (mm)

取引用計器

地上～意中心

1,800～2,000

引込開閉器

地上～中心

1,800～2,200

分電盤

床上～中心

1,500 (上端1,900以下)

スイッチ

〃

1,300

〃 (多機能トイレ)

〃

1,100

コンセント (一般)

〃

300

〃 (和室)

〃

150

〃 (台上)

台上～中心

150

〃 (土間)

床上～中心

800～1,300

〃 (車椅子用)

〃

900

ブラケット (一般)

〃

2,100～2,300

〃 (踊場)

〃

2,000～2,500

〃 (鏡上)

鏡上端～中心

150

壁掛形制御盤

床上～中心

1,500 (上端1,900以下)

手元開閉器

〃

1,500

操作スイッチ

〃

1,300

端子盤

床上～下端

300

保安器箱

天井下～上端

200

壁付アウトレット

床上～中心

300

〃 (和室)

〃

150

壁掛形観時計

床上～中心

1,500 (上限1,900以下)

子時計

〃

天井高×0.9

壁掛形スピーカ

床上～中心

天井高×0.9

壁付アッテネータ

〃

1,300

表

示

誘導

支

援

テ

レ

ビ

共

同

受

信

火

災

報

知

ガ

ス

漏

れ

警

報

受

信

機

検

知

器

機

器

収

容

箱

直

列

ユ

ニ

ット

〃

(和室)

〃

150

受信機・副受信機

床上～操作部

800～1,500

機器収容箱

〃

800～1,500

発信機

床上～中心

800～1,500

ベル

天井下～上端

200

表示灯

〃

200

ガス漏れ中継器

天井下～中心

300

検知器 (都市ガス)

天井下～下端

300

〃 (LPガス)

床上～上端

300

2 エス

の

た

め

送

電

線

及

び

配

電

線

の

近

く

て

作

業

す

る

と

き

は

、

事

前

に

中

国

電

力

に

連

絡

し

、

事

故

防

止

に

努

め

る

こ

と

。

Ⅲ 機 材 等

この工事に使用する機材は下記に記載されているものの他、同等品以上とする。  
設計図書の製品番号は、特定の製品を限定しない。  
同等品以上とする場合には、同等品承諾願いを提出し監督員の承諾を得ること。

品 名	製 造 業 者
1. 電 力 ケ ー ブ ル	矢 崎 、 日 立 、 住 友
2. 電 力 ケ ー ブ ル	同 上
3. 通 信 ケ ー ブ ル	同 上
4. 耐 火 ・ 耐 熱 ケ ー ブ ル	ただし特殊ケーブルで、左記メーカーの製品にないものは JIS規格品の使用可能とする。
5. 波 付 硬 質 合 成 樹 脂 管	耐火・耐熱電線認定業務委員会の認定 (J CMAマーク) の表示をしたもの。
6. 鋼 製 電 線 管	古河電工、未来工業、カナフレックス
7. 硬 質 塩 化 ビ ニ ル 電 線 管	パナソニック、丸一、日鉄
8. 合 成 樹 脂 製 可 とう 電 線 管	積水化学工業
9. 蛍 光 灯	パナソニック、古河電工、未来工業
10. 白 熱 灯 ・ L E D	パナソニック、東芝、日立、三菱、大光、通藤
11. 非 常 用 照 明 器 具	パナソニック、東芝、日立、三菱、大光、通藤、光電気通信
12. 誘 導 灯	上記製造業者のうち (財) 日本建築センターの性能評定マークが貼付されたもの。
13. H I D 灯	上記製造業者のうち誘導灯認定委員会の認定証票が貼付されたもの。
14. 配 線 器 具	パナソニック、東芝、日立、三菱
15. 高 圧 配 電 盤	パナソニック、東芝、永井、日立、増岡、三菱、パナソニック、内外、豊島、小林、富士オートメーション
16. 低 圧 配 分 電 盤	同 上
17. 端 子 盤	同 上
18. 配 線 用 遮 断 器	パナソニック、東芝、日立、三菱、富士
19. 電 磁 開 閉 器	パナソニック、東芝、日立、三菱、富士、戸上
20. 保 護 継 電 器	パナソニック、東芝、日立、富士、オムロン
21. 水 位 継 電 器	パナソニック、日立、三菱、富士、オムロン
22. コ ン デ ン サ	パナソニック、東芝、日立、三菱
23. 変 圧 器 (高 圧 用)	同 上
24. 高 圧 遮 断 器	東芝、日立、三菱、富士
25. 高 圧 気 中 開 閉 器	東芝、三菱、戸上、エナジーサポート
26. 自家発電機 (制御盤を含む)	東芝、日立、三菱、川崎、ヤンマー ただし防災用は左記のうち (社) 日本内燃力発電設備協会の認定証票が貼付されたもの。
27. 蓄 電 池	新神戸、日本電池、GS ) ただし建築基準法用及び消防法用に使用する別用用のものは、左記のうち
28. 整 流 装 置	同 上
29. 電 話 交 換 機 及 び 電 話 機	沖電気、日立、パナソニック、東芝、富士通 ただし (財) 電気通信端末機器審査協会の認定を受けている旨の表示をしたもの。
30. イ ン タ ー ホ ン	パナソニック、東芝、アイホン
31. 火 災 報 知 装 置	沖、東芝、能美、ホーチキ、パナソニック ただし、日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの。
32. 自 動 閉 鎖 装 置	同 上 ただし、 (財) 日本建築センターの性能評定マークが貼付されたもの。
33. 非 常 警 報 装 置	同 上 ただし、非常警報設備認定業務委員会の認定証票が貼付されたもの。
34. 表 示 器	パナソニック
35. 電 気 時 計	パナソニック
36. 拡 声 ・ 非 常 放 送 装 置	T O A 、 J V C ケ ー ヲ ッ ド 、 パ ナ ソ ニ ッ ク 、 東 芝
37. テ レ ビ 共 同 受 信 機 器	ただし、非常放送装置は非常用放送設備委員会の基準適合ラベルが貼付されたもの。
38. ハ ン ド ホ ー ル	マスプロ、ホーチキ、パナソニック
39. 避 雷 針	イーエムシー西部、インテックス、ランデス、オーコ、カナフレックス
40. コ ン ク リ ー ト 柱	大阪、日本
41. ケーブルラック・レースウェイ	ダイニチ、日本ネットワークサポート、中国高圧
42. ガス漏れ警報受信機	ネグロス、パナソニック、東芝
43. ガ ス 検 知 器	矢崎、パナソニック ただし日本消防検定協会又は高圧ガス保安協会の検定合格証票が貼付されたもの。
44. セ キ ュ リ テ ィ 、 H A 機 器	同 上 ただし、 (財) 日本ガス機器検査協会の合格証票又は高圧ガス保安協会の検定合格証票が貼付されたもの。
45. 中 央 監 視 制 御 機 器	東芝、三菱、山武、アイホン、パナソニック
	山武、ジョンソンコントロール、パナソニック

※ 送配電線の近くで作業するときは、前もって中国電力へ連絡すること。  
※ 不許複製  
※ (一社) 鳥取県設備設計事務所協会 作成

有限会社 亀 山 設 計

鳥 取 県 米 子 市 両 三 柳 7 2 4 番 地 1 1

一 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 3 0 - 1 3 5 6 号

CHECK

DRAWING

縮尺

工事名称

図面番号

亀山

佐藤

設計年月日

図面名称

NO

A2: --

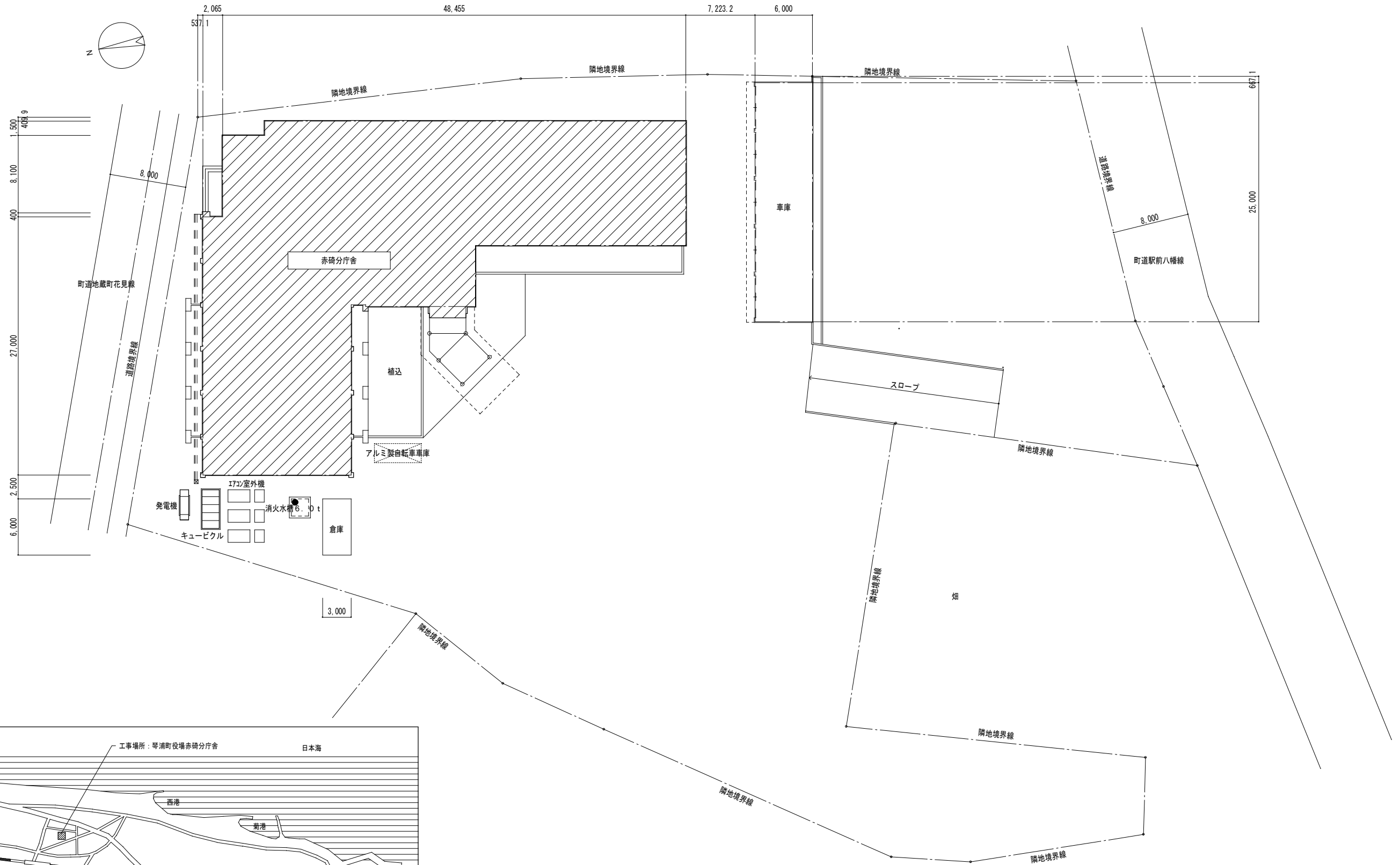
設計年月日

R 5 . 4

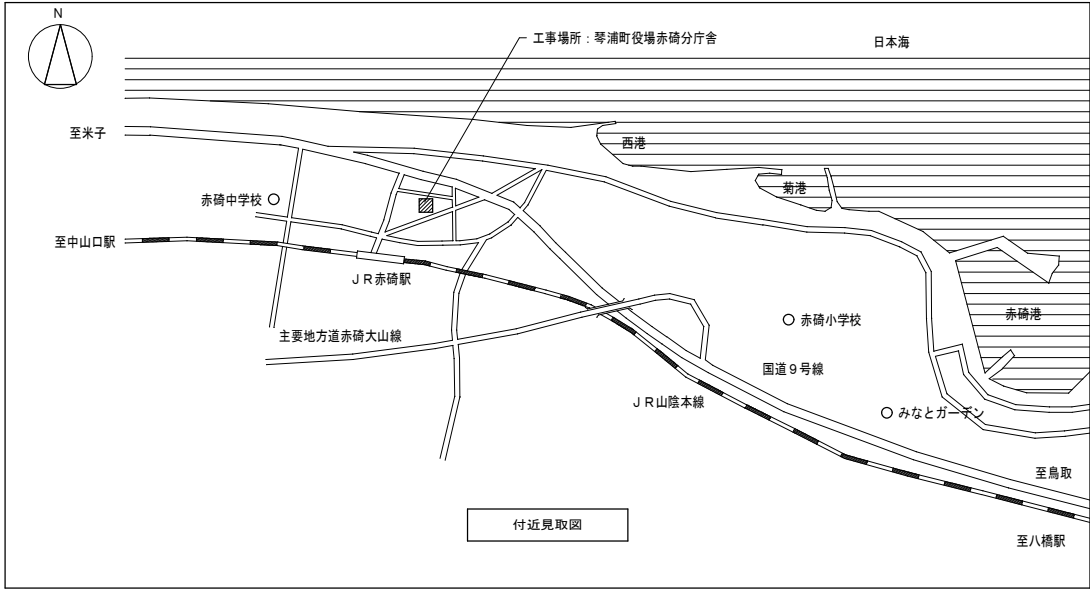
分庁舎非常用発電機更新工事

電気設備工事特記仕様書 (2)

E - 2 / 16

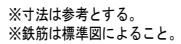
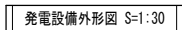


配置図 1:300

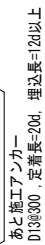


機 器 名 称 : AP95C-6SG型 (キュービクル型・長時間型・屋外型・騒音85dB型) 重耐塩塗装仕様								
発電機	形 式	横軸回転界磁同期発電機		エンジン	形 式	立形水冷4サイクルディーゼル機関		
	容 量	90 kVA			燃焼方式	直接噴射式		
		72.0 kW			定格出力	107.0 kW		
	電 圧	220 V			回転速度	1,800 min <sup>-1</sup>		
	電 流	237.0 A			総排気量	6.5 L		
	周 波 数	60 H z			冷却方式	ラジエータ冷却		
	回転速度	1,800 min <sup>-1</sup>			冷却水量(Rad-Eng)	10.0/12.0 L		
	相 数	3相3線			始動方式	セルモータによる電気始動		
	極 数	4 極			使 用 燃 料	種 類	ディーゼル軽油	
	力 率	80 %				タンク容量	190 L	
励磁方法	ブラシレス		燃料消費量	23.1 L/h				
クラ	耐 熱	発電機	電機子:F種 界 磁:H種	パ	潤滑油量(全量/有効量)	18.0/8.0 L		
	励磁機	電機子:F種 界 磁:F種	ラジエータファン排風量		140 m <sup>3</sup> /min			
	保護方式	開放保護形 (IP20)			種 類	REH型 (制御弁式)		
	冷却方式	自己流通形 (IO01)				容 量	DC24V - 24AH	
充電方式		半導体式全自動充電		始動時間	10秒以内			
キュービクル	騒音値※ 塗装色	85dB (A) 以下 (重耐塩塗装仕様)		乾燥重量	1988 kg			
		5Y7/1 半ツヤ						
ベース 仕 様		溶融亜鉛メッキ		認 定	(一社) 日本内燃発電設備協会			

項 目	デバイス	警報表示灯	警 報	機 関 自動停止	主回路遮断	外部信号
潤滑油圧低下	63 G	○	○	○	○	重故障 一 括
冷却水温度上昇	26 W	○	○	○	○	
過 回 転	12	○	○	○	○	
始 動 渋 滞	48 T	○	○	○	—	
過 電 流	51	○	○	×	○	
緊 急 停 止	5 E	○	○	○	○	
燃料油最低油量	63 Q L L	○	○	○	○	軽故障 一 括
過 電 圧	59 G	○	○	×	×	
燃料油面低下	33 Q L	○	○	×	×	
蓄電池温度上昇	T R S	○	○	×	×	
充電器異常	86 C H	○	○	×	×	

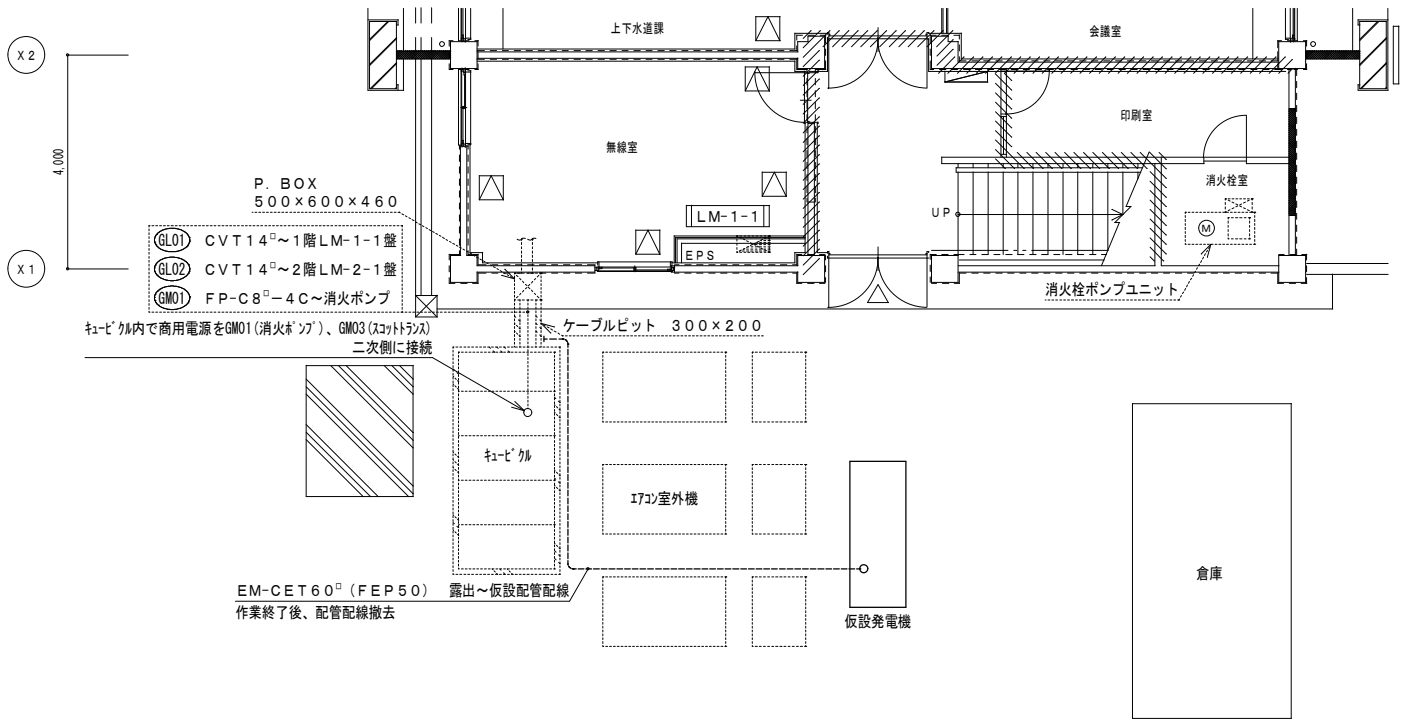


新設発電機基礎平面図	S=1:30	(改修後)
------------	--------	-------



※寸法は参考とする。

基礎増し打ち部配筋参考図 S=1:30

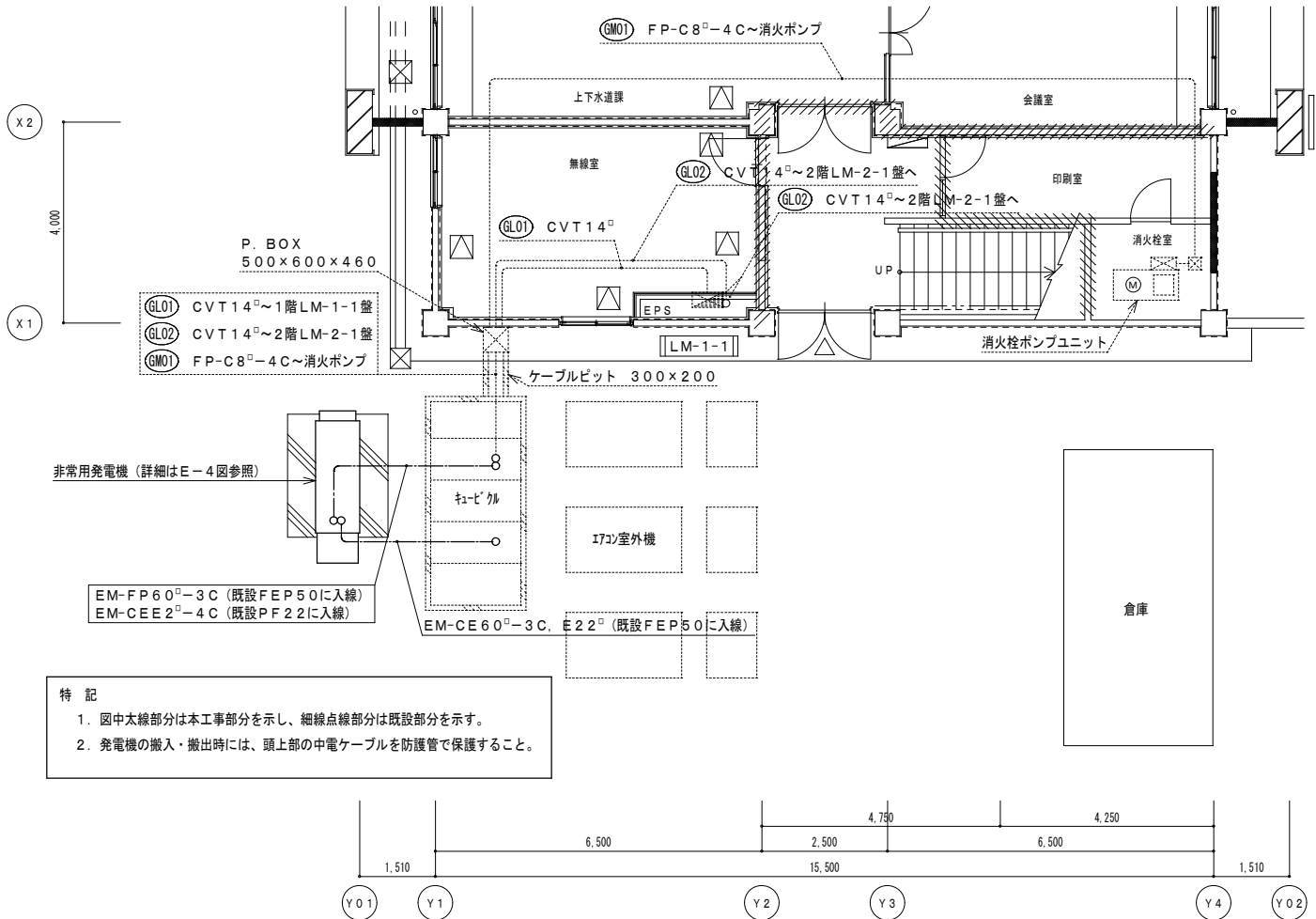


- 仮設発電機 仕様

  - ・ディーゼル発電機
  - ・定格出力 90kVA相当
  - ・3φ3W200V
  - ・燃料 軽油
  - ・搭載タンク 200L
- 特 記

  1. 仮設発電機、仮設配管配線は緊急時に備えて準備をしておくが、原則キュービクル内の商用電源配線の接続替えて工事を行うこととする。
  2. 仮設発電機は燃料を満タン状態で設置し、万が一発電機を稼働した場合消費分の燃料給油は、発注者にて行うものとする。
  3. 夜間休日を問わず、仮設発電機は手動ON-OFF操作が必要であるため、その操作は発注者が行うこととする。
  4. 仮設発電機を使用する際に、キュービクル内の発電機系統への接続は、施工業者工事とする。仮設配線をGM03(スコットランス)回路の二次側に接続し、安全のためブレーカーをOFFにすること。
  5. 仮設配線をキュービクルに接続時は、必要に応じてブルーシート等で雨避けの養生を行うこと。
  6. 仮設発電機設置位置は、施設担当者と打合せを行うこと。
  7. 施設を使用しながらの工事のため、停電時間を最小限に出来るよう努めること。また停電作業日時は施設運営に支障を来さないよう、施設と打合せの上決定すること。

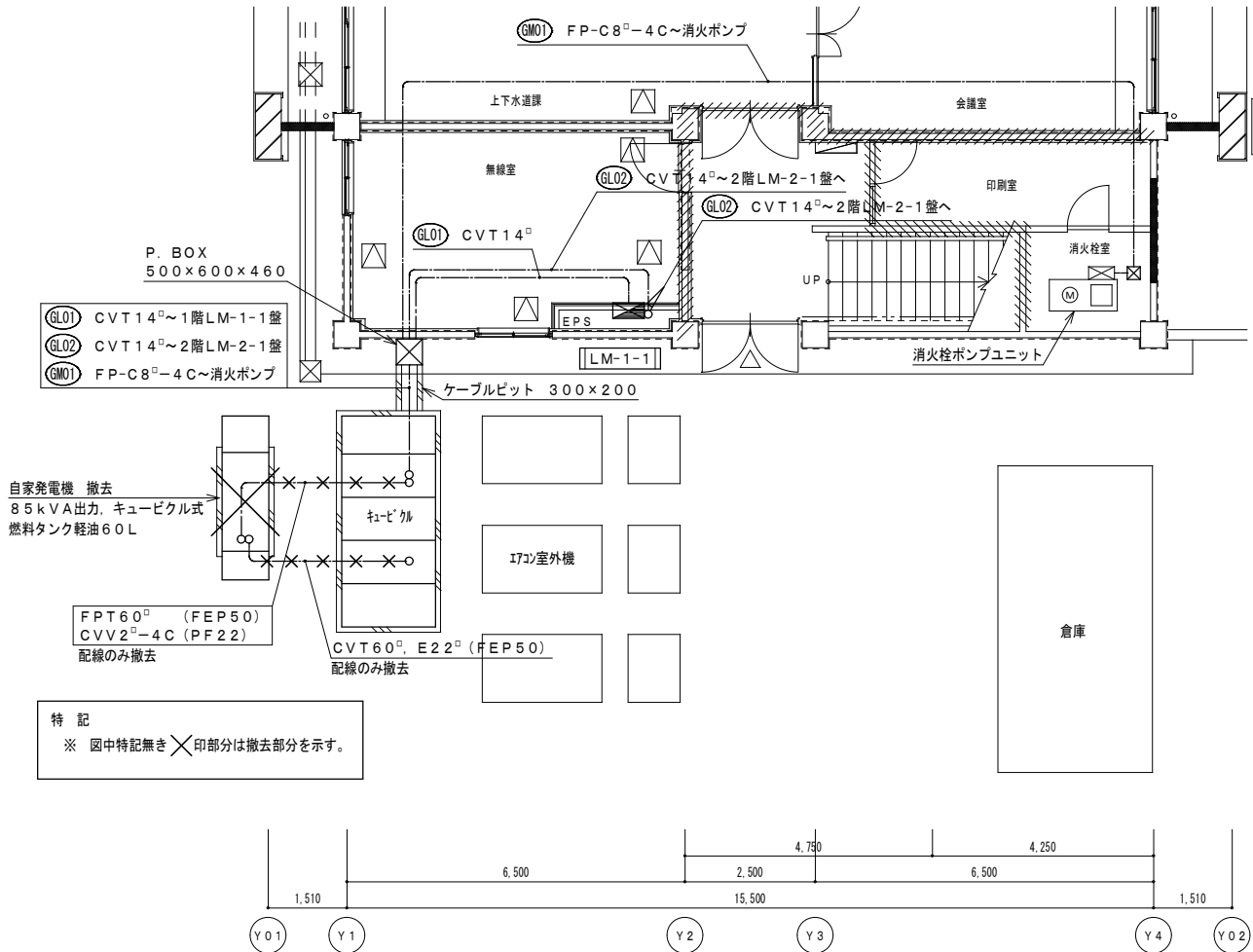
1階平面図-1 S=1:100 (仮設)



- 特 記

  1. 図中大線部分は本工事部分を示し、細線点線部分は既設部分を示す。
  2. 発電機の搬入・搬出時には、頭上部の中電ケーブルを防護管で保護すること。

1階平面図-1 S=1:100 (改修後)



- 特 記

※ 図中特記無き×印部分は撤去部分を示す。

1階平面図-1 S=1:100 (撤去)

## 分電盤リスト (1)

盤 名 称 幹 線 番 号 盤 形 状	電 主 開 線 結 合 計 容 量	回 路 種 別 番 号	電 圧 (V)	分 岐 開 閉 器				照 明 コン セン ト	負 荷 名 称	負 荷 容 量 (VA)	附 属 機 器							備 考	
				M C B	E L B	P	A F / A T				リ モ ン リ レ ー ト ラ ン ス ス イ ッ チ タ イ マ ー	W H M	T / U						
LM-1-1 (上下ダクト) CH-2830 端子台70P 実装	L01 CVT60□  × MCB 3P 225/150A	(a)	100	○	2	50/20		防災アンプ	550										
		(b)	100	○	2	50/20		火報受信機	210										
		(予備)	100	○	2	50/20													
		(320)	100	○	2	50/20	○	出納室 (OCR)	800									※表蓋扉開口の上、スペースに取付	
		(K01)	100	○	2	50/20		トイレ呼出	40									※銘板変更	
		(101)	100	○	2	50/20	○	非常照明	80									新設 R T 回路へ	
		(102)	100	○	2	50/20	○	廊下、印刷室 ポンプ室	600	1									
		( )	100	○	2	50/20		TV											
		(201)	200	○	2	50/20	○		2210		2								
		( )	100	○	2	50/20		分庁管理課 4											
		(301)	100	○	2	50/20	○	廊下、会議室	400										
		(302)	100	○	2	50/20	○	上下水道課 (北) → 予備	700									※銘板変更	
		(303)	100		○	2	50/20	○	上下水道課 (北)	500									
		(304)	100	○	2	50/20	○	上下水道課 (北) → 予備	500									※銘板変更	
		(305)	100	○	2	50/20	○	上下水道課 (南) → 予備	600									※銘板変更	
		(306)	100		○	2	50/20	○	戸籍係	1200									
		(307)	100	○	2	50/20	○	分庁管理課 → 予備	800										※銘板変更
		(308)	100	○	2	50/20	○	出納室 (北)	500										
		(309)	100		○	2	50/20	○	分庁管理課	1300									
		(310)	100	○	2	50/20	○	出納室	800										
		(311)	100		○	2	50/20	○	印刷室 (コピー機)	1200									
		(312)	100		○	2	50/20	○	印刷室エアコン	1300									
		(313)	100	○	2	50/20		分庁管理課 3											
		(314)	100	○	2	50/20	○	無線室	500										
		( )	100	○	2	50/20		分庁管理課 2											
	( )	100	○	2	50/20		分庁管理課 5												
	( )	100	○	2	50/20		分庁管理課 1												
	(401)	200		○	2	50/20	エアコン (AC-1) 室内機	820											
	(402)	200		○	2	50/20	エアコン (AC-2) 室内機	1120											
	( )	100	○	2	50/20		分庁管理課 7												
	( )	100	○	2	50/20		分庁管理課 6												
	(701)	200	○	2	50/20	○	無線室、北各室	1846											
	(702)	200	○	2	50/20	○	通路、南各室、図書室	2314			2								
	(801)	100	○	2	50/20	○	上下水道課 (北)	900											
	(802)	100	○	2	50/20	○	管理課	800											
	(803)	100	○	2	50/20		予備 → 上下水道課 (北)	700									※銘板変更		
	(804)	100	○	2	50/20	○	戸籍係	1200											
	(805)	100	○	2	50/20	○	無線室 → 上下水道課 (北)	500									※銘板変更		
	(806)	100	○	2	50/30		防災無線 UPS	2400											
	(807)	100	○	2	50/20		中央監視装置・ビデオ盤	500											
	(808)	100	○	2	50/20		地震度計測器	100											
	(809)	100	○	2	50/20		予備 → 上下水道課 (南)	600									※銘板変更		
	(810)	100	○	2	50/20		防災行政無線 ネットワークアダプター	100											
	( )	200	○	2	50/30		防災行政無線用 直流電源装置	200									既設再用 (K01回路より)		
	(811)	100	○	2	50/20	○	分庁管理課	800									※スペースに取付		
(813)	100	○	2	50/20	○	図書室事務コーナー	600									※スペースに取付			
(RT)	100	○	2	50/20		伝送ユニット、リモコン	110			(1)				(2)		※スペースに取付			

[illegible]

特記

1. 図中    内、太線図示部分は本工事対象部分を示す。
2. ( )内は、発電機回路の電源接続替えを示す。
3. 図中細線破線は、そのままとする。

※ 盤内伝送ユニットへLM-1-1盤 (RT) より給電

分電盤リスト（２）

盤 名 称 幹 線 番 号 盤 形 状	電 氣 方 式 主 開 閉 線 記 号 容 量	回 路 種 別 番 号	電 圧 (V)	分 岐 開 閉 器			負 荷 名 称	負 荷 容 量 (VA)	附 属 機 器							備 考
				M C B	E L B	P A F / A T			リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	
LM-2-1 (上下ダクト) CH=2830 端子台100P 実装	L01 CVT38□ × MCB 3P 100/100A	予備	100	○		2	50/20									
		RT	100	○		2	50/20		※銘板変更							
		101	100	○		2	50/20	○	非常照明	70						新設RT回路へ
		102	100	○		2	50/20	○	男子ロッカー室 照明・換気扇	30						
		予備	100	○		2	50/20									
		201	200	○		2	50/20	○	会議室、北各室窓側	1700						
		202	200	○		2	50/20	○	廊下、南各室窓側	1250	1					
		301	100	○		2	50/20	○	会議室、廊下、階段	500						
		302	100		○	2	50/20	○	商工観光課	200						
		303	100		○	2	50/20	○	商工観光課 → 予備	700						※銘板変更
		304	100		○	2	50/20	○	建設課（北）コピー	1000						
		305	100		○	2	50/20	○	建設課（北） → 予備	300						※銘板変更
		306	100		○	2	50/20	○	建設課（北）	500						
		307	100	○		2	50/20	○	建設課（南）	500						
		308	100	○		2	50/20	○	建設課（南）	300						
		309	100	○		2	50/20	○	建設課（南）	100						
		310	100	○		2	50/20	○	農林水産課 → 予備	700						※銘板変更
		311	100	○		2	50/20	○	農林水産課 → 予備	300						※銘板変更
		312	100	○		2	50/20	○	男子ロッカー室	100						
		予備	100	○		2	50/20									
		○	100	○		2	50/20		建設課 1							
		予備	100	○		2	50/20									
		401	200		○	2	50/20		エアコン（AC-4） 室内機	970						
		402	200		○	2	50/20		エアコン（AC-5） 室内機	910						
		予備	200	○		2	50/20									
		予備	200	○		2	50/20									LM-2-2盤201回路より1個移設
	L02 CVT14□ × MCB 3P 50/50A (6.556VA)	701	200	○		2	50/20	○	商工観光課、廊下 建設課（北）、ロビー	1906	2					※R201ル-2P1個を2個に変更
		702	200	○		2	50/20	○	農林水産課 建設課（南）	1420						
		801	100	○	○	2	50/20	○	予備 → 商工観光課	700						※銘板変更、ブレーカ取替
		802	100	○		2	50/20	○	予備 → 建設課（北）	300						※銘板変更
		803	100	○		2	50/20	○	予備 → 農林水産課	700						※銘板変更
		804	100	○		2	50/20	○	予備 → 農林水産課、土地改良区	900						※銘板変更
		805	100	○		2	50/20	○	予備 → 集会ホール（東）	300						※銘板変更
		806	100	○		2	50/20	○	予備 → 集会ホール（西）	300						※銘板変更
		RT	100	○		2	50/20	○	リモコントランス	40		(1)		(1)		※スペースに取付
		SP														既設再用(RT回路より)
		SP														
		SP														

盤 名 称 幹 線 番 号 盤 形 状	電 主 結 合	電 氣 開 線 計 容	方 閉 記 容 量	式 器 号 量	回 路 番 号	種 別	電 圧 (V)	分 岐 開 閉 器				負 荷 名 称		負 荷 容 量 (VA)	附 属 機 器							備 考																																																																																																																																																																																																																									
								M C B	E L B	P	A F / A T	照 明	コ ン セ ン ト		リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス		リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス

特 記

- 図中    内、太線図示部分は本工事対象部分を示す。
- ( ) 内は、発電機回路の電源接続替えを示す。
- 図中細線破線は、そのままとする。




有限会社 亀 山 設 計

鳥 取 県 米 子 市 両 三 柳 7 2 4 番 地 1 1  
一 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 3 0 - 1 3 5 6 号



縮 尺  
A2: — —  
設 計 年 月 日  
R 5 . 4

工 事 名 称  
分 庁 舎 非 常 用 発 電 機 更 新 工 事  
図 面 名 称  
分 電 盤 リ ス ト ( 2 )

図 面 番 号  
E - 7 / 16  
NO








分電盤リスト (3)



盤 名 称 幹 線 番 号 盤 形 状	電 主 合 開 線 計 容 方 閉 記 容 式 器 号 量	回路 番 号	種 別	電 圧 (V)	分 岐 開 閉 器				負 荷 名 称		負 荷 容 量 (VA)	附 属 機 器								備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					M C B	E L B	P	A F / A T	照 明	コ ン テ ン ト		リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス		リ モ コ ン ト ラ ン ス	リ モ コ ン ト ラ ン ス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
LM-3-1 (上下ダクト) CH=2830 端子台 100P 実装	L01 CVT22 × MCB 3P 100/100A	予備		100	○		2	50/20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

盤 名 称 幹 線 番 号 盤 形 状	電 主 開 結 閉 合 記 計 容 量	方 式 開 閉 記 号 器 量	回路 番 号	種 別	電 圧 (V)	分 岐 開 閉 器				負 荷 名 称		負 荷 容 量 (V A)	附 属 機 器								備 考		
						M C B	E L B	P	A F / A T	照 明	コ ン セ ン ト		リモコン リレー 1 P	リモコン リレー 2 P	リモコン マグネット トランス	スイッチ	タイマー	WHM	T / U				
LM-3-2 (上下ダクト) CH=2830 端子台50P 実装	L03 CVT38□ × MCB 3P 225/150A	端子台1P 新設	誘		100	○		2	50/20	○	誘導灯	60											
			RT		100	○		2	50/20			リモコントランス	40			1				2			
			101		100	○		2	50/20	○		非常照明	50										
			102		100	○		2	50/20	○		調整室、廊下 他 照明・換気扇	1170	3									
			103		100	○		2	50/20	○		男子・女子WC 照明・換気扇	760										
			104		100	○		2	50/20			舞台部、ホール内 換気扇	300	1									
			予備		100	○		2	50/20														
			予備		100	○		2	50/20														
			201		200	○		2	50/20	○		E Vホール、廊下	760		1								
			予備		100		○	2	50/20														
			301		100		○	2	50/20	○		湯沸室	1000										
			302		100		○	2	50/20	○		多目的WC カナル付、水栓付	1300										
			303		100		○	2	50/20	○		女子WC カナル付、水栓付	1300										
			304		100		○	2	50/20	○		男子WC カナル付、水栓付	1300										
			305		100		○	2	50/20	○		男子・女子WC	200										
			306		100	○		2	50/20	○		廊下、ホール、倉庫	700										
			307		100	○		2	50/20	○		調整室	300										
			308		100	○		2	50/20	○		調整室	800										
			309		100	○		2	50/20			音響機器収納架	1500										
			310		100	○		2	50/20			音響機器収納架	1500										
			311		100	○		2	50/20			音響機器収納架	1500										
312		100	○		2	50/20	○		音響ワゴン、調整卓	1500													
313		100	○		2	50/20	○		予 備														
314		100	○		2	50/20			ホール電気時計	80													
予備		100	○		2	50/20																	
予備		100	○		2	50/20																	
予備		100	○		2	50/20																	
予備		100	○		2	50/20																	
401		200		○	2	50/20	○		湯沸室 IHヒーター	2000													
402		200		○	2	50/20	○		湯沸室 温水器	2000													
403		200			○	2	50/20			調整室エアコン	2120												
404		200	○		2	50/20			EVホール、廊下エアコン (AC-6) 室内機	210													

撤 去

凡 例		(各階共通)
記 号	名 称	仕 様
	照明器具	自家発電機系統
	照明器具	自家発電機系統
	照明器具	一般電源系統
	照明器具	一般電源系統
	天井点検口	




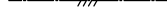







特 記（各階共通）

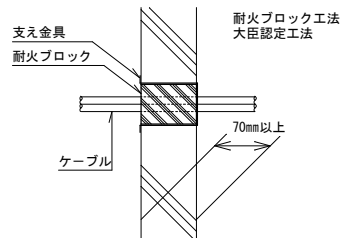
1. 図中記入なき配線は、下記による
- |             |                        |     |
|-------------|------------------------|-----|
| ———         | VVF 1. 6-2C            | 天井内 |
| ———//———    | VVF 2. 0-3C (1Cアース線)   | 天井内 |
| ———///———   | VVF 2. 0-3C            | 天井内 |
| ———////———  | VVF 2. 0-2C×2          | 天井内 |
| ———/////——— | VVF 2. 0-2C×2 (1Cアース線) | 天井内 |
2. 図中特記無き  印部分は撤去部分を示す。  
但し、躯体隠へい部分の配管は既設のままとする。
3. 図中  印の器具・配線は、取り外し(再使用有り)を示す。

改修後

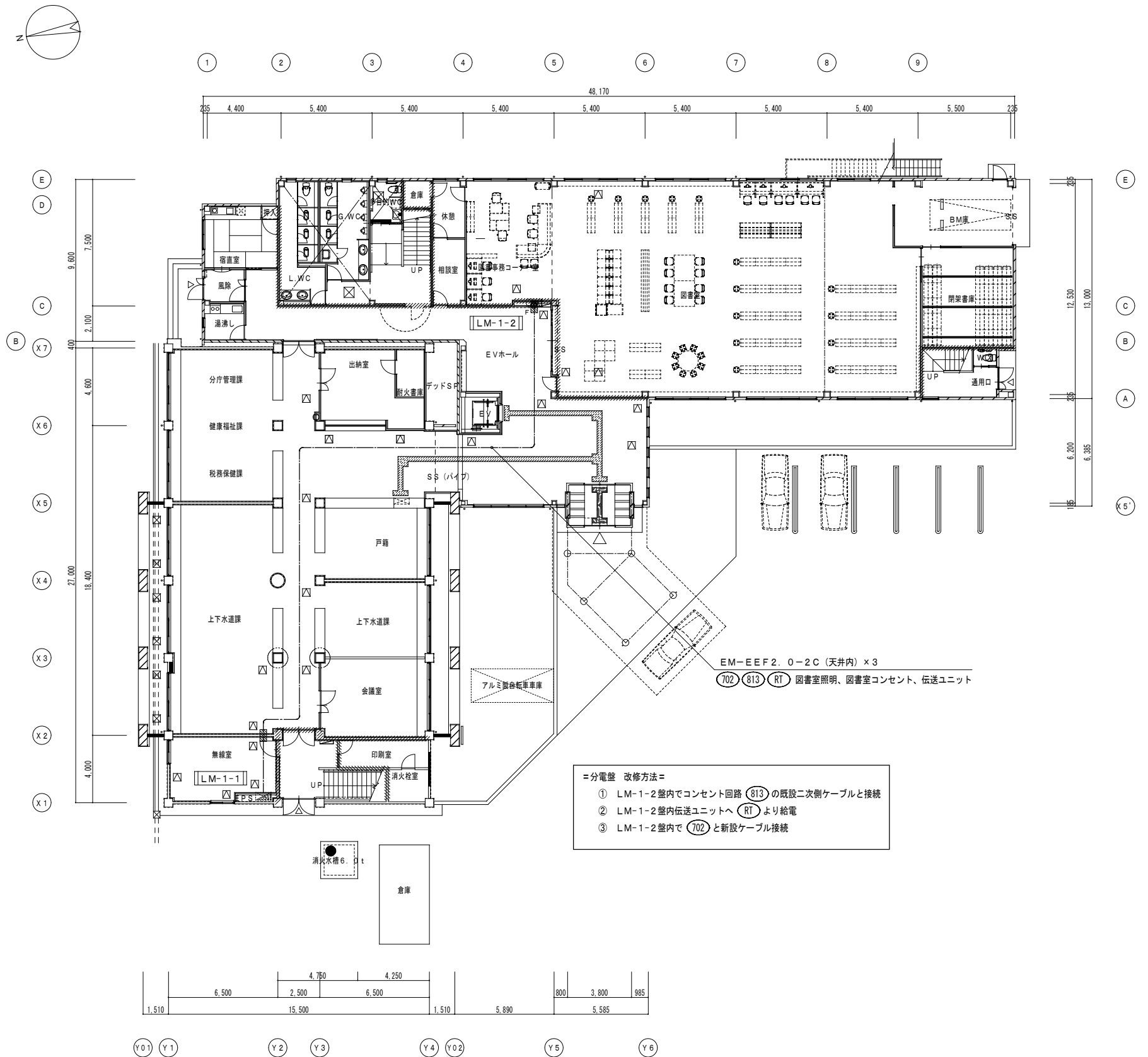
凡 例		(各階共通)	
記 号	名 称	仕 様	
	照明器具	自家発電機系統 (既設)	
	照明器具	自家発電機系統 (既設)	
	照明器具	一般電源系統 (既設)	
	照明器具	一般電源系統 (既設)	
●	埋込スイッチ	1 P 15 A × 1	金属プレート
● <sup>2P</sup>	埋込スイッチ	2 P 15 A × 1	金属プレート
	ジョイントボックス	V V F 用 中 型	
	天井点検口	4 5 0 × 4 5 0	
	天井点検口	既設	

特 記（各階共通）

1. 図中記入なき配線は、下記による
- |   |                         |        |
|---|-------------------------|--------|
|  | EM-E-EF2. 0-2C          | 天井内    |
|  | EM-E-EF2. 0-3C (1Cアース線) | 天井内    |
|  | EM-E-EF2. 0-3C          | 天井内    |
|  | EM-E-EF2. 0-2C×2        | 天井内    |
|  | VVF2. 0-2C              | 天井内    |
|  | VVF2. 0-3C              | 天井内    |
|  | VVF2. 0-3C              | OAフロア内 |
2. 図中太線部分は本工事部分を示し、細線太線部分は既設部分を示す。
3. (再)付記の器具は、既設取外品再使用を示す。
4. 図中  印部分は、立下部分メタルモールA型を示す。
5. 図中  印は機械はつり補修部を示し、 印部分は防火区画直通処理部（機械はつり補修共）を示す。  
(下図参考図参照)
6. 照明器具取外し後は点検・清掃の上、再取付のこと。
7. 図中  内の照明器具を、一般回路から発電機回路に変更すること。（分電盤結線図参照）  
分電盤内にて結線替えを行い、照明器具・配管・配線は、既設再用とする。
8. 発電機回路のスイッチは、既設新設を問わず発電機回路が分かる表示を行うこと。
9. 既存施設を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵等に十分配慮し、既設設備を確認して、施設の運用に支障を来さないよう施工すること。
10. 停電作業等施設運営に支障がある工程は、事前に日程等の打合せを行うこと。



防火区画貫通部処理（参考図）



=分電盤 改修方法=

- ① LM-1-2盤内でコンセント回路(813)の既設二次側ケーブルと接続
- ② LM-1-2盤内伝送ユニットへ(RT)より給電
- ③ LM-1-2盤内で(702)と新設ケーブル接続

1階平面図 S=1:200 (改修後)

有限会社 亀山設計

鳥取県米子市両三柳724番地11  
一級建築士事務所 登録第30-1356号

**CHECK**

### DRAWING

縮尺

A2: 1 : 2 0 0

設計年月日 2011.11.1

工事名称

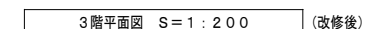
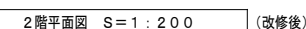
分庁舎非常用発電機更新工事

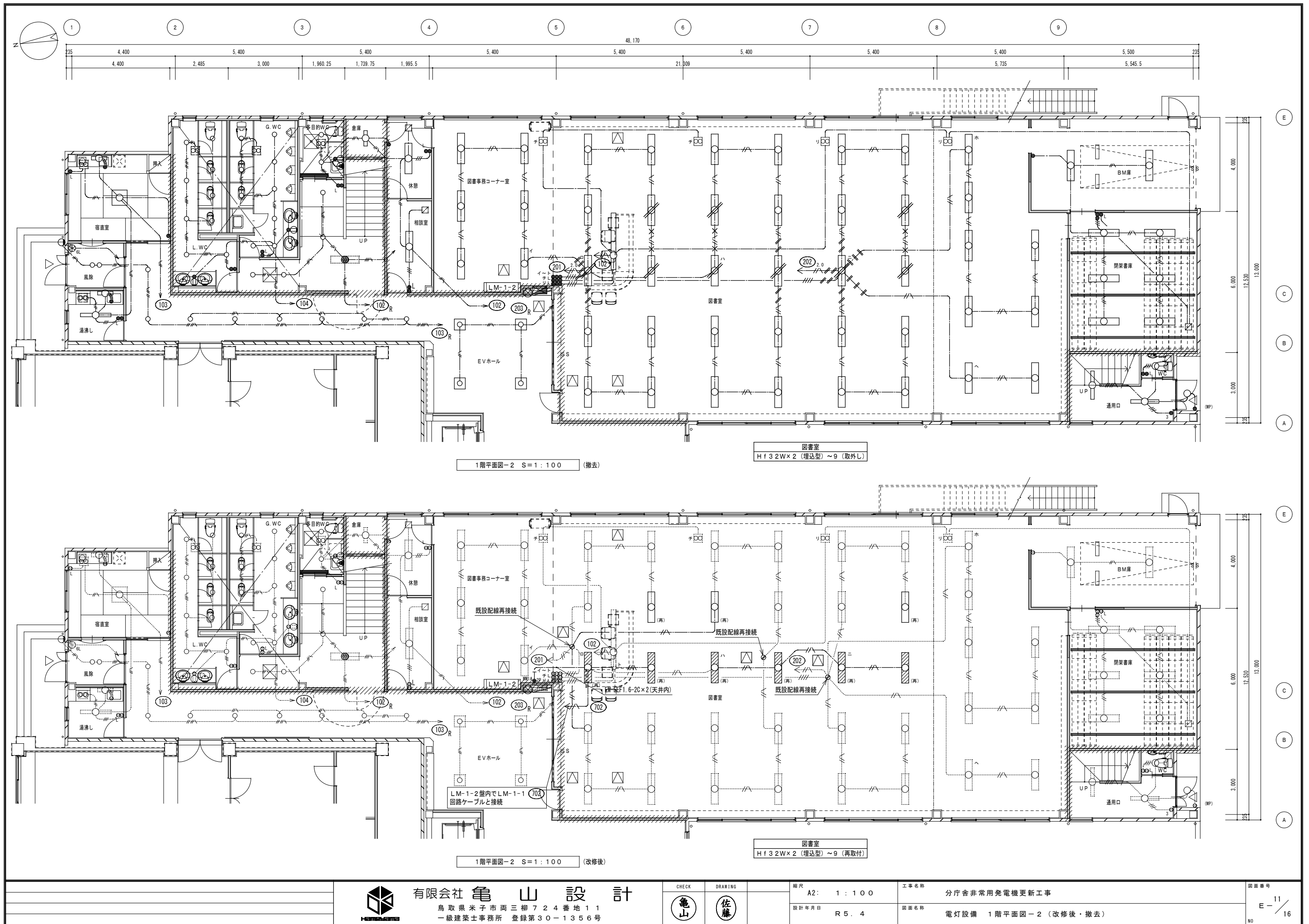
圖面名稱	圖面說明
圖 1	...
圖 2	...
圖 3	...
圖 4	...
圖 5	...
圖 6	...
圖 7	...
圖 8	...
圖 9	...
圖 10	...
圖 11	...
圖 12	...
圖 13	...
圖 14	...
圖 15	...
圖 16	...
圖 17	...
圖 18	...
圖 19	...
圖 20	...
圖 21	...
圖 22	...
圖 23	...
圖 24	...
圖 25	...
圖 26	...
圖 27	...
圖 28	...
圖 29	...
圖 30	...
圖 31	...
圖 32	...
圖 33	...
圖 34	...
圖 35	...
圖 36	...
圖 37	...
圖 38	...
圖 39	...
圖 40	...
圖 41	...
圖 42	...
圖 43	...
圖 44	...
圖 45	...
圖 46	...
圖 47	...
圖 48	...
圖 49	...
圖 50	...
圖 51	...
圖 52	...
圖 53	...
圖 54	...
圖 55	...
圖 56	...
圖 57	...
圖 58	...
圖 59	...
圖 60	...
圖 61	...
圖 62	...
圖 63	...
圖 64	...
圖 65	...
圖 66	...
圖 67	...
圖 68	...
圖 69	...
圖 70	...
圖 71	...
圖 72	...
圖 73	...
圖 74	...
圖 75	...
圖 76	...
圖 77	...
圖 78	...
圖 79	...
圖 80	...
圖 81	...
圖 82	...
圖 83	...
圖 84	...
圖 85	...
圖 86	...
圖 87	...
圖 88	...
圖 89	...
圖 90	...
圖 91	...
圖 92	...
圖 93	...
圖 94	...
圖 95	...
圖 96	...
圖 97	...
圖 98	...
圖 99	...
圖 100	...

電灯・コンセント設備 1階平面図（改修後）

图面番号

E -  $\frac{9}{16}$



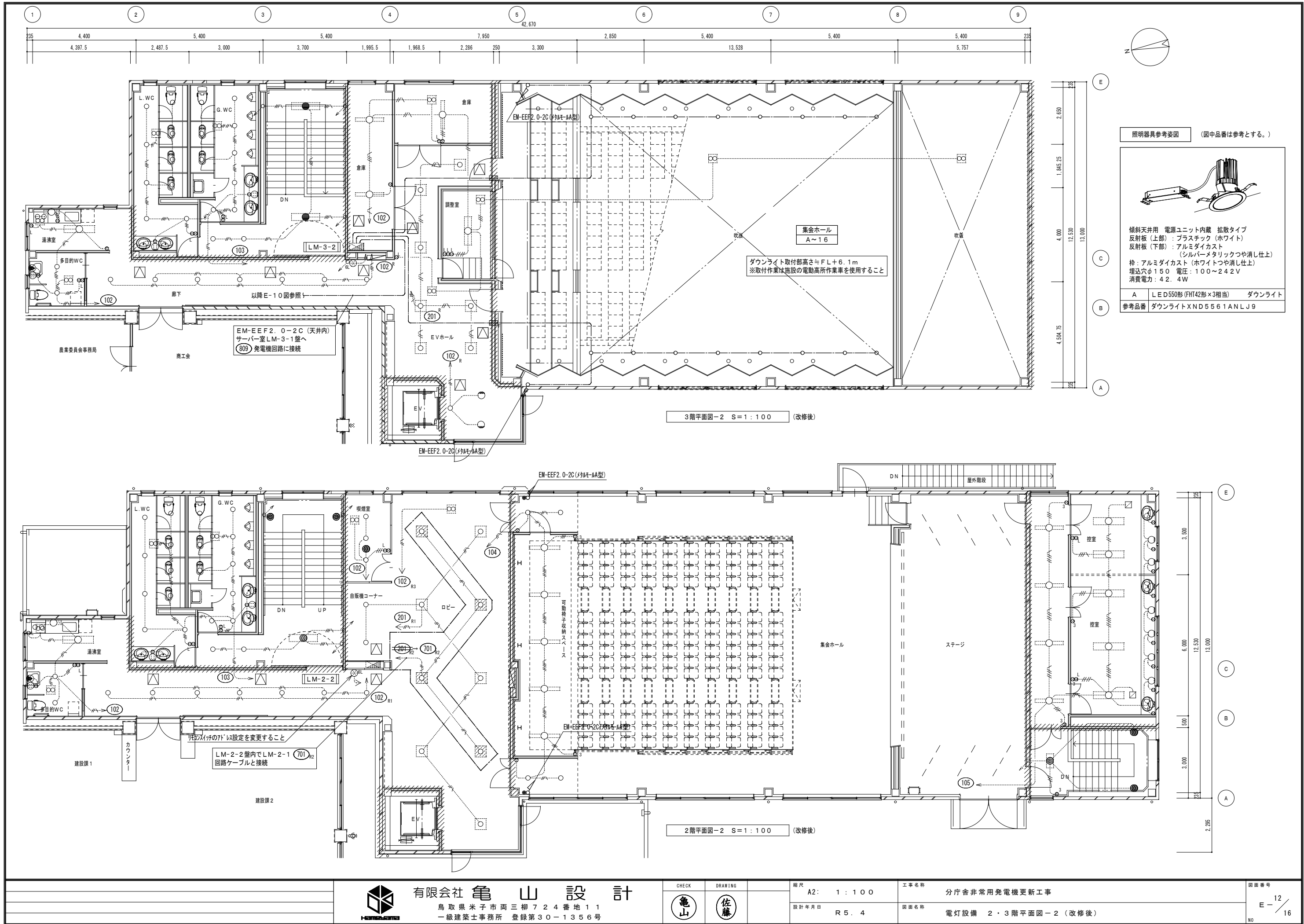


有限会社 亀山設計  
鳥取県米子市両三柳724番地11  
一級建築士事務所 登録第30-1356号



縮尺 A2: 1:100  
設計年月日 R5.4

工事名称 分庁舎非常用発電機更新工事  
図面名称 電灯設備 1階平面図-2 (改修後・撤去)

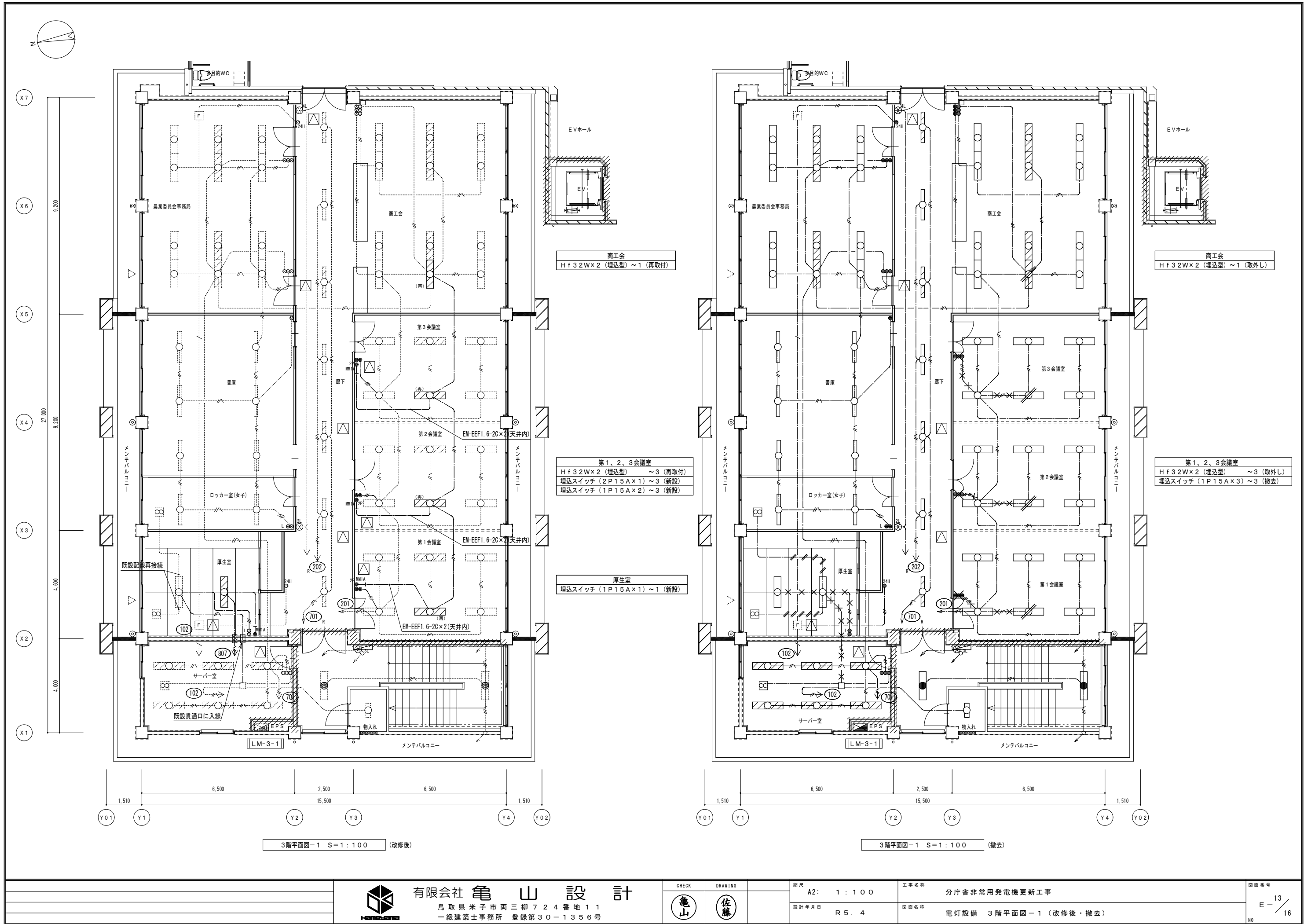


有限会社 亀山設計  
鳥取県米子市両三柳724番地11  
一級建築士事務所 登録第30-1356号



縮尺 A2: 1:100  
設計年月日 R5.4

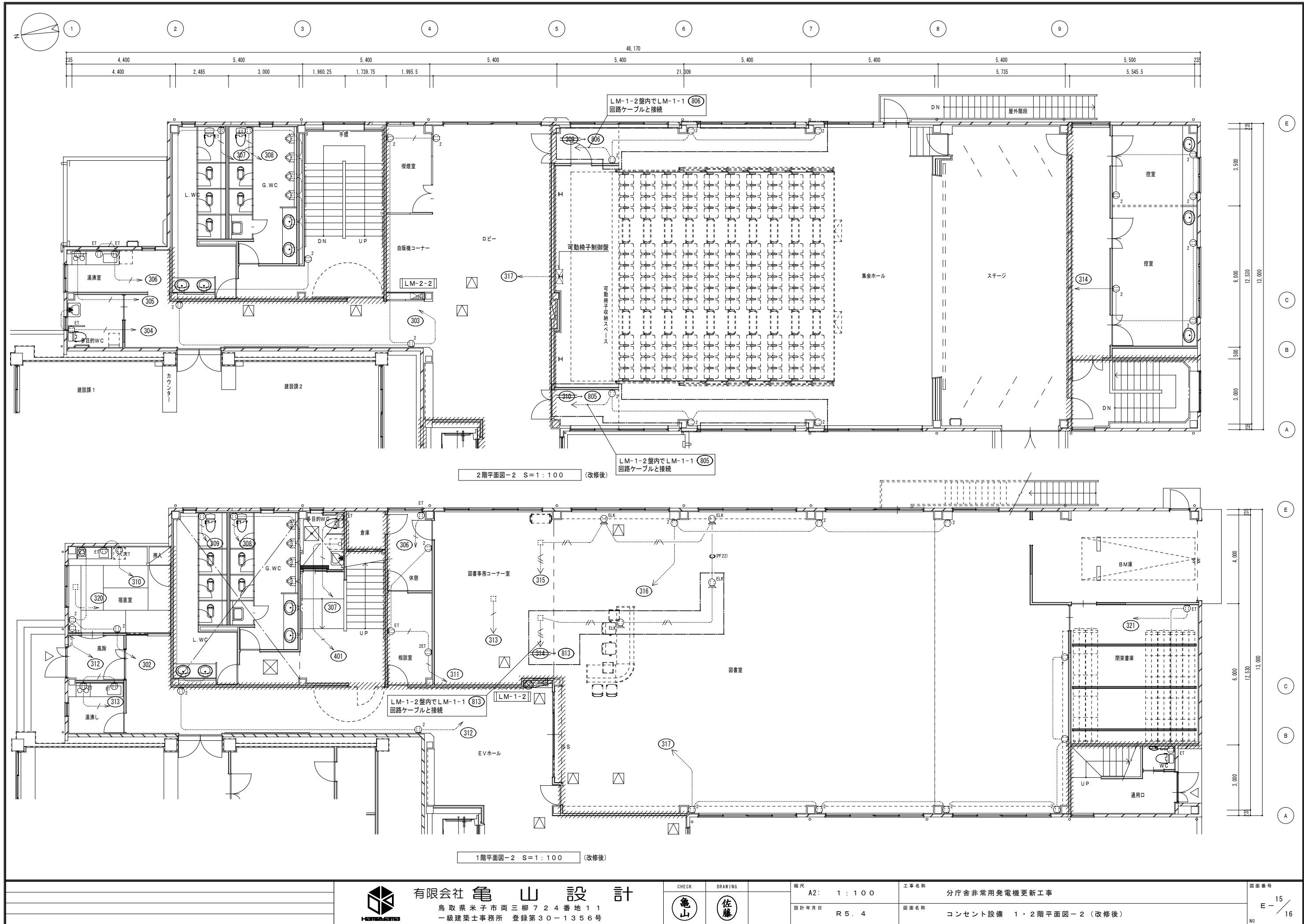
工事名称 分庁舎非常用発電機更新工事  
図面名称 電灯設備 2・3階平面図-2 (改修後)



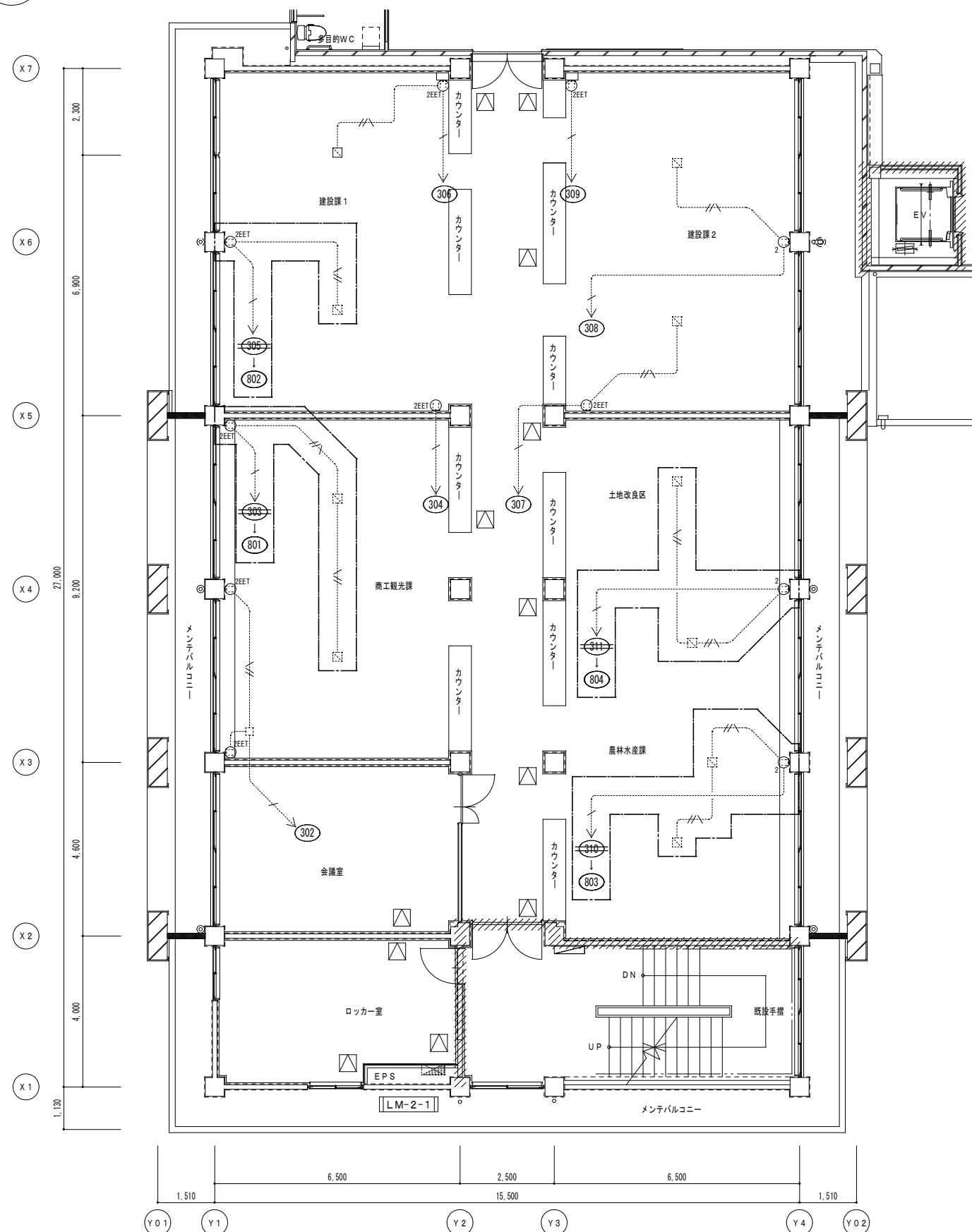
3階平面図-1 S=1:100 (改修後)

3階平面図-1 S=1:100 (撤去)

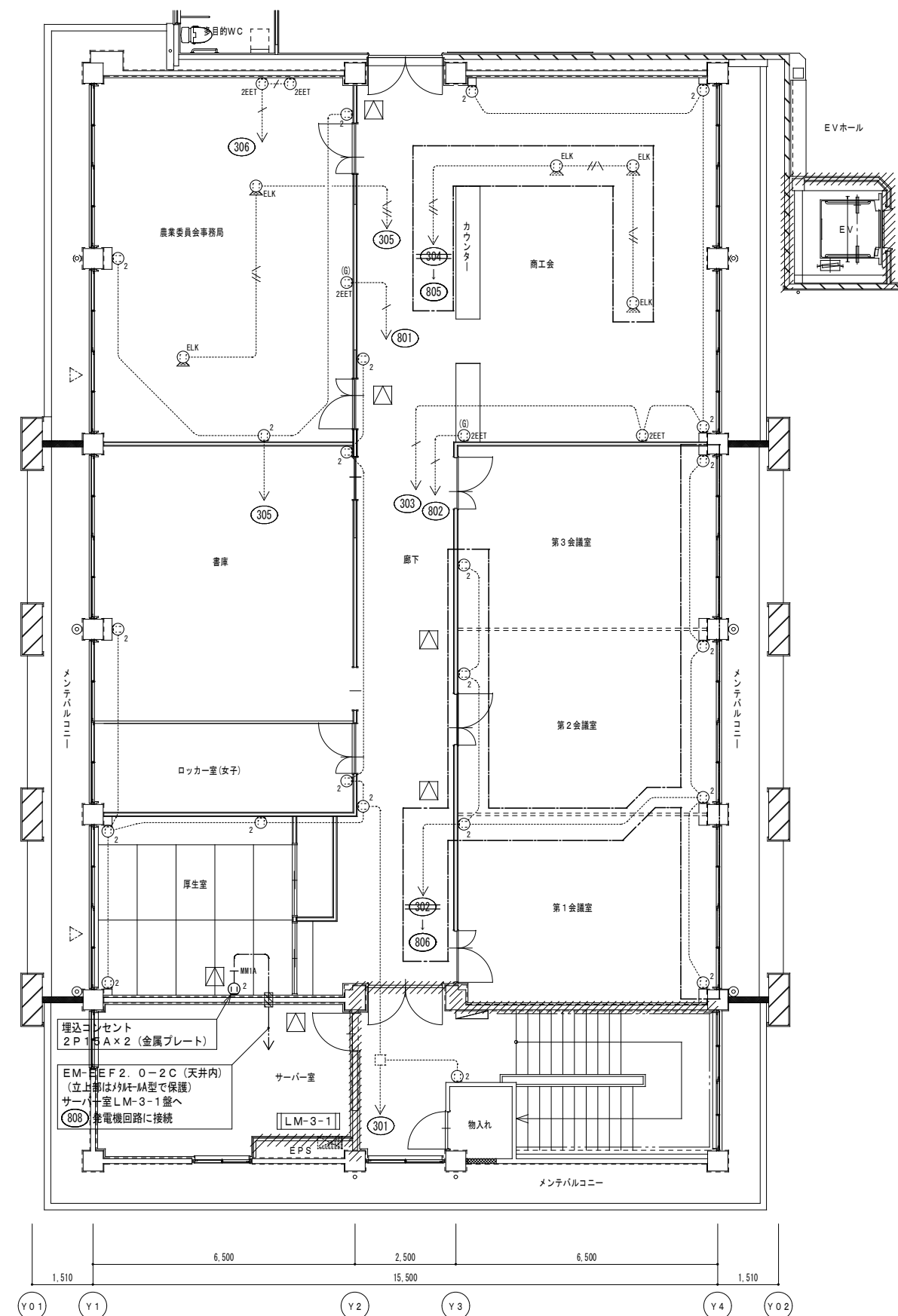








2階平面図-1 S=1:100 (改修後)



3階平面図-1 S=1:100 (改修後)

